

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	4-(1)-ア	アジア・太平洋地域の平和発信拠点の形成	施 策	①国内外に向けた平和を希求する「沖縄のこころ」の発信
			施策の小項目名	○平和を希求する「沖縄のこころ」の国内外への発信
主な取組	平和の礎への追加刻銘		対応する成果指標	平和の礎の来園者数及び平和祈念資料館の入館者数
施策の方向	・ 沖縄戦において一般住民が地上戦に巻き込まれ、多くの命が失われた凄惨な経験を通して、慰霊の日における沖縄全戦没者追悼式の開催、平和の礎への追加刻銘など、戦没者のみ霊を慰め、平和を希求する「沖縄のこころ」の国内外への発信に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
平和を希求する「沖縄のこころ」の国内外への発信を目的に、追加刻銘等の実施、施設・整備等を行う。	県	追加刻銘等の実施、施設・設備等の整備		
		追加刻銘者数(累計)		
		100人	100人(200人)	100人(300人)
担当部課【連絡先】	知事公室平和・地域外交推進課 【 098-894-2226 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.lg.jp/heiwakichi/jinken/1008269/1008287/index.html

様式 1 （主な取組）

2

取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名	平和の礎事業			
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額	
県単等	委託	8, 703	19, 674	

令和7年度活動内容

令和7年度においては、342名の追加刻銘を実施し、施設の維持管理を行った。

(単位：千円)

予算事業名	平和の礎事業		
R8年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	委託	15, 037	

令和8年度活動計画

令和8年度においても引き続き、平和の礎への追加刻銘、施設の維持管理を行う。

活動指標名	追加刻銘者数（累計）		R7年度			進捗状況	活動概要
実績値	R5年度	R6年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	—	—	342人	100人	100. 0%	令和7年度は、令和6年度に新たに「平和の礎に係る刻銘基本方針」に該当すると認定された戦没者342名について、追加刻銘を実施した。	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和7年度は、令和6年度に新たに「平和の礎に係る刻銘基本方針」に該当すると認定された戦没者342名について、追加刻銘を実施した。平和の礎が建設された平成7年以降の刻銘者数は「242, 567名」となり、計画は順調に推進されている。追加刻銘の進捗により、平和を希求する沖縄のこころを県内外へ発信できた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和7年度の取組改善案	反映状況
平和の礎の刻銘者をインターネットで検索可能なシステムを整備するほか、ホームページ上で質問集を作成することにより、県内外へさらなる周知を図る。	平和の礎刻銘者インターネット検索システムの整備およびホームページ上に質問集を掲載したところ、追加刻銘の問い合わせ等が増加するなど、県内外へのさらなる周知が図られた。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑥ 他地域等の動向 （外部環境の変化）	平和の礎刻銘者インターネット検索システムの整備およびホームページ上に質問集を掲載したことにより、県内外からの追加刻銘に関する相談が増える等、平和を希求する「沖縄のこころ」の発信につながった。	⑤ 情報発信等の強化・改善	平和の礎刻銘者インターネット検索システムおよびメタバースを活用して、平和を希求する「沖縄のこころ」のさらなる発信につなげていく。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	4-(1)-ア	アジア・太平洋地域の平和発信拠点の形成	施 策	①国内外に向けた平和を希求する「沖縄のこころ」の発信
			施策の小項目名	○平和を希求する「沖縄のこころ」の国内外への発信
主な取組	沖縄平和賞の開催		対応する成果指標	平和の礎の来園者数及び平和祈念資料館の入館者数
施策の方向	・ 沖縄戦において一般住民が地上戦に巻き込まれ、多くの命が失われた凄惨な経験を通して、慰霊の日における沖縄全戦没者追悼式の開催、平和の礎への追加刻銘など、戦没者のみ霊を慰め、平和を希求する「沖縄のこころ」の国内外への発信に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
沖縄平和賞の周知を図るため、パネル展等を開催する。	県,沖縄平和賞委員会	沖縄平和賞の周知を図るパネル展等の開催		
		パネル展の開催箇所数(累計)		
		9箇所	9箇所(18箇所)	9箇所(27箇所)
担当部課【連絡先】	知事公室平和・地域外交推進課 【 098-894-2226 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/heiwakichi/jinken/1008269/1008311/index.html

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	平和創造・発信事業			予算事業名	平和創造・発信事業	
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額	R8年度		
				主な財源	実施方法	
県単等	負担	24, 843	19, 614	県単等	負担	30, 732
令和7年度活動内容				令和8年度活動計画		
第13回沖縄平和賞受賞候補者の調査並びに沖縄平和賞の情報発信および広報事業の実施した。				第13回沖縄平和賞授賞式の開催および関連事業を実施する。		

活動指標名	パネル展の開催箇所数（累計）		R7年度			進捗状況	活動概要
実績値	R5年度	R6年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	—	—	5箇所	9 箇所	55.6%	大幅遅れ	沖縄平和賞パネル展を県内外各施設5ヵ所で実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

沖縄平和賞パネル展開催の目標値9ヵ所に対し、県内外各施設の5ヵ所で実施した。達成割合が60%を下回ったため進捗状況は「大幅遅れ」と判定した。目標値に届かなかった要因としては、戦後80年の節目の年であり、その準備や関連事業等で時間を要したことが考えられる。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和7年度の取組改善案	反映状況
県の公式SNSアカウントやプレスリリースを活用して、より多くの方にパネル展等へ足を運んでもらうため、広報周知を強化する。	戦後80年の節目の年であり、これらの準備や関連事業等で時間を要したことで、例年より開催回数が少なかったが、県の公式SNSアカウントで広報できた。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他内部要因 （改善余地の検証等）	パネル展等の開催において、目標値に大幅遅れの状況であったことに加え、実施の情報発信等に課題が残った。	⑤ 情報発信等の強化・改善	沖縄平和賞パネル展開催の目標値9ヵ所に対し、5ヵ所開催に留まったことから、目標値達成のため、平和賞イベントに限らず平和関係イベントでのパネル出展に向け取り組みを進めたい。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	4-(1)-ア	アジア・太平洋地域の平和発信拠点の形成	施 策	①国内外に向けた平和を希求する「沖縄のこころ」の発信
			施策の小項目名	○平和を希求する「沖縄のこころ」の国内外への発信力の強化
主な取組	沖縄県平和祈念資料館での魅力ある企画展の開催		対応する成果指標	平和の礎の来園者数及び平和祈念資料館の入館者数
施策の方向	・ 平和発信の拠点となる沖縄県平和祈念資料館での魅力ある企画展の開催及び展示内容の多言語化を進め、国内外への発信力の強化に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施 主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R7	R8	R9
平和を希求する「沖縄のこころ」の国内外への発信力の強化のため、沖縄県平和祈念資料館において、特別企画展等を開催する。	県	沖縄県平和祈念資料館における特別企画展等の開催		
		特別企画展等の開催回数（累計）		
		5回	5回（10回）	5回（15回）
担当部課【連絡先】	知事公室平和・地域外交推進課 【 098-894-2226 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)			
予算事業名		平和祈念資料館展示活動事業			予算事業名		平和祈念資料館展示活動事業	
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額		R8年度			
		主な財源	実施方法		当初予算額			
県単等	その他	29,840	30,920		県単等	その他	34,284	
令和7年度活動内容					令和8年度活動計画			
児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展等の展示を開催した。					児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展等の展示を開催する。			

活動指標名	特別企画展等の開催回数（累計）		R7年度			進捗状況	活動概要
実績値	R5年度	R6年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	—	—	4回	5回	80.0%	概ね順調	
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果							
特別企画展等の開催は、目標を下回る4回となったが、戦後80年祈念巡回展を阿嘉島、伊江島、宮古島、与那国島、石垣島で12月から2月にかけて実施できた。この結果、平和を希求する「沖縄のこころ」の国内外への発信力の強化に寄与できたことから、進捗状況は概ね順調と判定した。							
(2) これまでの改善案の反映状況							
令和7年度の取組改善案				反映状況			
現体制で可能な限りの対応をしており、引き続き取り組みを進めていく。				展示更新に人員を割かれ体制的に厳しい状況の中、戦後80年を祈念し、阿嘉島・伊江島・宮古島・与那国島・石垣島で「島々の沖縄戦」を開催した。企画展では、小学生にも分かりやすい表現、デザインを心がけ、今までにない新たな見せ方によって魅力ある企画展を実施できた。			

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他内部要因 （改善余地の検証等）	常設展示の更新作業のために人員が割かれた結果、目標より1回少ない開催数となった。	⑧ その他	目標達成に向け、職員のワークライフバランスに留意しながら、引き続き現体制で可能な取り組みを進めていく。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	4-(1)-ア	アジア・太平洋地域の平和発信拠点の形成	施 策	①国内外に向けた平和を希求する「沖縄のこころ」の発信
			施策の小項目名	○平和を希求する「沖縄のこころ」の国内外への発信力の強化
主な取組	「平和の礎」刻銘者インターネット公開		対応する成果指標	平和の礎の来園者数及び平和祈念資料館の入館者数
施策の方向	・ 平和発信の拠点となる沖縄県平和祈念資料館での魅力ある企画展の開催及び展示内容の多言語化を進め、国内外への発信力の強化に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施 主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R7	R8	R9
令和7年6月23日に向けて、平和の礎刻銘者インターネット検索システムを公開する	県	平和の礎刻銘者のインターネット公開		
		システム開発		
		実施	実施	実施
担当部課【連絡先】	知事公室平和・地域外交推進課 【 098-894-2226 】		関連URL	https://heiwaishiji.pref.okinawa.jp

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況						(単位：千円)		
予算事業名		「平和の礎」刻銘者インターネット検索システム構築事業				予算事業名		
主な財源		実施方法		R6年度 決算額	R7年度 決算見込額	R8年度		
県単等		委託		0	3,278	主な財源		当初予算額
						—		—
令和7年度活動内容						令和8年度活動計画		
平和の礎に刻銘されている方をインターネットで検索できるように、システムを令和7年6月23日までに公開した。								

活動指標名		システム開発		R7年度			進捗状況	活動概要
		R5年度	R6年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値		—	—	実施	実施	100.0%	順調	平和の礎に刻銘されている方をインターネットで検索できるように、システムを令和7年6月23日までに公開した。

様式 1 （主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
目標としていた令和7年6月23日までに公開できたため、進捗状況を順調とした。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和7年度の取組改善案	反映状況
無し	無し

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他内部要因 (改善余地の検証等)	よりユーザーの利便性向上に努める

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑧ その他	慰霊の日に向けてのアクセス集中時に対応できるよう業者と調整する。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	4-(1)-ア	アジア・太平洋地域の平和発信拠点の形成	施 策	①国内外に向けた平和を希求する「沖縄のこころ」の発信
			施策の小項目名	○平和を希求する「沖縄のこころ」の国内外への発信力の強化
主な取組	沖縄県平和祈念資料館の展示更新		対応する成果指標	平和の礎の来園者数及び平和祈念資料館の入館者数
施策の方向	・ 平和発信の拠点となる沖縄県平和祈念資料館での魅力ある企画展の開催及び展示内容の多言語化を進め、国内外への発信力の強化に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施 主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R7	R8	R9
沖縄県平和祈念資料館の展示更新（知事公室 沖縄県平和祈念資料館）	県	沖縄県平和祈念資料館の展示更新		
		展示更新工事		
		実施	実施	実施
担当部課【連絡先】	知事公室沖縄県平和祈念資料館 【 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況						(単位：千円)			
予算事業名			沖縄県平和祈念資料館展示更新事業			予算事業名		沖縄県平和祈念資料館展示更新事業	
主な財源		実施方法		R6年度 決算額	R7年度 決算見込額	R8年度			
						主な財源		実施方法	当初予算額
県単等		委託		812	36,704	県単等		委託	58,495
令和7年度活動内容						令和8年度活動計画			
令和7年10月に展示更新基本計画を策定した。本計画を踏まえ、令和7年9月から展示更新基本設計に着手した。						令和7年度に引き続き、展示更新監修委員会の意見等を踏まえ展示更新基本設計の策定に向けて取り組む。			

活動指標名		展示更新工事		R7年度			進捗状況	活動概要
実績値	R5年度	R6年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	実施	実施	75.0%	概ね順調	沖縄県平和祈念資料館の展示更新に向けて、令和7年1月に基本構想、令和7年10月に基本計画を策定し、現在、基本設計に着手している。	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

沖縄県平和祈念資料館の展示更新に向けて、令和7年1月に基本構想、令和7年10月に基本計画を策定し、現在基本設計に着手しており、段階的に取り組みの進展が見られるため「おおむね順調」としている。

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和7年度の取組改善案	反映状況
—	開館以降初めての展示更新であることから、展示内容や展示手法等の検討に必要な期間を確保するため、令和7年度予算の繰越を行った。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他内部要因 （改善余地の検証等）	開館以降初めての展示更新であることから、基本設計業務において展示内容や展示手法等の検討に十分な期間を確保する必要がある。	⑧ その他	基本設計業務の検討に必要な期間を確保し、監修委員会において展示内容や展示手法等を十分に検討する。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	4-(1)-ア	アジア・太平洋地域の平和発信拠点の形成	施 策	①国内外に向けた平和を希求する「沖縄のこころ」の発信
			施策の小項目名	○戦争遺跡の保全
主な取組	第32軍司令部壕の保存・公開		対応する成果指標	平和の礎の来園者数及び平和祈念資料館の入館者数
施策の方向	・国や市町村等との連携・協働の下、県内各地に残されている戦争遺跡の保全に取り組み、一般公開が可能な遺跡については、沖縄戦の記憶継承の空間としての利活用に取り組みます。特に、沖縄戦の軍事的中枢施設であった第32軍司令部壕については、壕の詳細な位置の確認や壕周辺の地盤の安全性を検討するための地質調査等を進め、壕の保存・公開に向けて取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
平和を希求する「沖縄のこころ」を国内外に発信し、アジア・太平洋地域における平和発信拠点の形成および沖縄戦の実相と教訓の次世代への継承を推進する。このため、第32軍司令部壕の保存・公開に向けた詳細調査を実施し、情報発信等に取り組む。	県	保存・公開に向けた詳細調査実施と情報発信		
		調査や情報発信等の実施回数(累計)		
		3回	3回(6回)	3回(9回)
担当部課【連絡先】	知事公室平和・地域外交推進課 【 098-894-2226 】		関連URL	https://32okinawa.com/

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)		
予算事業名	第32軍司令部壕保存・公開事業				予算事業名	第32軍司令部壕保存・公開事業	
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額		R8年度		
					主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	74,170	57,816		県単等	委託	71,053
令和7年度活動内容					令和8年度活動計画		
第32軍司令部壕第1坑口の発掘調査等を実施し、壕専用ホームページを活用した情報発信等を行った。					第32軍司令部壕第1坑口の発掘調査等を実施し、壕専用ホームページを活用した情報発信等を行う。		

活動指標名	調査や情報発信等の実施回数（累計）		R7年度			進捗状況	活動概要
	R5年度	R6年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	—	—	11回	3回	100.0%	順調	第1坑口発掘調査の実施、壕を史実等に基づいて説明できるガイドを養成するためのガイドテキストの作成やフィールドワーク講座の実施、壕の周知啓発を目的とした専用ホームページによる情報発信等を行った。

様式 1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
調査や情報発信等の実施回数は、目標の3回に対して実績が11回（達成割合100%）となったことから、「順調」と判定した。 令和6年度発掘調査結果報告やガイドテキストの掲載、第32軍司令部壕展示施設基本計画検討委員会および住民説明会等について、プレスリリースの実施、ホームページの掲載等を行った。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和7年度の取組改善案	反映状況
○令和7年3月に策定した第32軍司令部壕保存・公開基本計画をもとに、保存・公開の実現に向け、各種調査や展示施設基本計画の策定等を実施する。 ○整備費用等が適正なのか精査する。また、財源確保のため、国庫支出金等の確保に向け、関係課と調整する。	○第32軍司令部壕の保存・公開を具体的に検討し推進するため、有識者による展示施設検討委員会を7回、住民説明会を4回開催し、第32軍司令部壕展示施設基本計画を検討した。 ○第32軍司令部壕展示施設基本計画を検討する際に、整備費用の総額を算出し、国の補助要綱などで対象となる財源について検討した。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	第32軍司令部壕の全体像や沖縄戦での役割、各坑口・坑道の機能を伝える。令和7年度住民説明会の意見を踏まえ、展示施設整備の基本計画を作成する。	① 執行体制の改善	令和7年3月の基本計画を基に、住民説明会の意見を検討し、保存・公開に向け各種調査や展示施設基本計画の策定を令和8年度に実施する。
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	風化進行中の壕保存・公開に伴い、展示施設整備や復元には多額費用が必要。令和7年度の国庫要請結果を踏まえ、費用精査と財源確保を検討する。	① 執行体制の改善	整備費用等の適正性を精査するとともに、財源確保のため、令和7年度に実施した国庫要請等の結果も踏まえ、国庫支出金等の確保に向けて関係課と調整する。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	4-(1)-ア	アジア・太平洋地域の平和発信拠点の形成	施 策	②アジア・太平洋地域における平和ネットワークの形成
			施策の小項目名	○平和を軸とする国際的なネットワーク形成
主な取組	国際ネットワーク構築に向けた海外の自治体や平和関連施設等との意見交換		対応する成果指標	地域間協力ネットワークを活用した発信数（累計）
施策の方向	・ アジア・太平洋地域の平和の構築と維持に貢献する個人・団体を「沖縄平和賞」として顕彰し、賞を通して受賞団体等の活動を支援するとともに、「沖縄平和賞」の更なる認知度向上を図りつつ、受賞団体等とのネットワークを活用した平和に関する広報啓発活動等の新たな展開を進め、平和を軸とする国際的なネットワーク形成に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R7	R8	R9
令和7年度は、韓国・済州道（4・3平和記念財団）、台湾228財団、韓国・光州518記念財団との意見交換と、ドイツ・オスナブリュックとのオンライン意見交換を行った。	県,	国際平和ネットワーク構築に向けた意見交換		
		海外の自治体や平和関連施設等との意見交換回数（累計）		
		4回	4回（8回）	4回（12回）
担当部課【連絡先】	知事公室平和・地域外交推進課 【 098-894-2226 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	平和を希求する沖縄のこころ海外発信強化事業			予算事業名	平和を希求する沖縄のこころ海外発信強化事業	
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額	R8年度		
		主な財源	実施方法	当初予算額		
県単等	委託	11,000	31,745	県単等	委託	20,162
令和7年度活動内容				令和8年度活動計画		
令和7年度は、済州4・3財団、台湾228財団、光州518記念財団との意見交換と、ドイツ・オスナブリュックとのオンライン意見交換を行った。				東アジア民主平和人権ネットワーク、グローバル平和都市連帯、このほか、姉妹州などをターゲットに意見交換を推進する。		

活動指標名	海外の自治体や平和関連施設等との意見交換回数（累計）		R7年度			進捗状況	活動概要
実績値	R5年度	R6年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	—	—	4回	4回	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果						
海外の自治体や平和関係施設との意見交換の回数について、目標4回に対し実績4回となったことから、「順調」と判定した。						

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和7年度の取組改善案	反映状況
県の公式SNSアカウントやプレスリリースを活用して、より多くの方にパネル展等へ足を運んでもらうために、広報周知を強化する。	県の広報媒体を使用したPRを実施した。その結果、多くの方に展示をご覧いただいた。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他内部要因 （改善余地の検証等）	海外の団体との意見交換については、時差や言語などに留意して意見交換を行った。	② 連携の強化・改善	引き続き、海外とはオンラインの意見交換の機会を作り、併せて対面の意見交換を続ける。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	4-(1)-ア	アジア・太平洋地域の平和発信拠点の形成	施 策	②アジア・太平洋地域における平和ネットワークの形成
			施策の小項目名	○平和を軸とする国際的なネットワーク形成
主な取組	沖縄平和賞受賞団体を活用したシンポジウム開催		対応する成果指標	地域間協力ネットワークを活用した発信数（累計）
施策の方向	・アジア・太平洋地域の平和の構築と維持に貢献する個人・団体を「沖縄平和賞」として顕彰し、賞を通して受賞団体等の活動を支援するとともに、「沖縄平和賞」の更なる認知度向上を図りつつ、受賞団体等とのネットワークを活用した平和に関する広報啓発活動等の新たな展開を進め、平和を軸とする国際的なネットワーク形成に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
平和構築に貢献するため、平和推進に関するネットワークを活用した会議やシンポジウム等の開催を行う。	県,沖縄平和賞委員会	沖縄平和賞シンポジウムの開催		
		シンポジウムの開催回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	知事公室平和・地域外交推進課 【 098-894-2226 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/heiwakichi/jinken/1008269/1008311/index.html

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)		
予算事業名	平和創造・発信事業				予算事業名	平和創造・発信事業	
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額		R8年度		
					主な財源	実施方法	
県単等	負担	24, 843	16, 436		県単等	負担	30, 732
令和7年度活動内容					令和8年度活動計画		
令和8年に開催予定の第13回沖縄平和賞受賞候補者の調査並びに沖縄平和賞の情報発信および広報事業を実施した。					第13回沖縄平和賞授賞式の開催および関連事業を実施する。		

活動指標名	シンポジウムの開催回数（累計）		R7年度			進捗状況	活動概要
実績値	R5年度	R6年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		平和推進に関するネットワークを活用した会議やシンポジウム等を開催した。
	—	—	1回	1 回	100. 0%		
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果							
令和7年12月に沖縄平和賞歴代受賞者による基調講演やトークセッションを通して国際平和に関する機運を高めた。目標1回に対し、実績1回だったことから進捗状況を「順調」と判定した。							
(2) これまでの改善案の反映状況							
令和7年度の取組改善案				反映状況			
引き続き、沖縄平和賞歴代受賞者や関係団体等と連携し、シンポジウムを開催していくことで、さらなるネットワークの構築に努めていく。				第12回沖縄平和賞受賞者である特定非営利活動法人ヒューマンライツ・ナウと連携した「沖縄平和賞シンポジウム」を実施した。 また、沖縄平和賞の趣旨や本県の平和への取組を全国に発信し、同賞のさらなる認知度向上に努めた。			

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他内部要因 （改善余地の検証等）	平和を希求する「沖縄のこころ」を継続的に発信していくため、沖縄平和賞歴代受賞者とのネットワークを継続して維持していく必要がある。	⑦ 取組の時期・対象 の改善	過去に沖縄平和賞を受賞した12団体と再度連携しシンポジウムを開催する等、ネットワークの継続強化を図っていく。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	4-(1)-ア	アジア・太平洋地域の平和発信拠点の形成	施 策	②アジア・太平洋地域における平和ネットワークの形成
			施策の小項目名	○「国際平和研究機構（仮称）」の設置検討
主な取組	平和祈念資料館の体制強化		対応する成果指標	地域間協力ネットワークを活用した発信数（累計）
施策の方向	・ 平和推進の拠点となり調査研究や情報発信等を行うため「国際平和研究機構（仮称）」の設置を検討するとともに、平和に関する多様な資源の集積や様々な機関との連携強化に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R7	R8	R9
平和祈念資料館展示更新事業において、設計業務に並行し監修委員会で展示内容の校正等を検討する必要があるため、班員1名の継続配置に取り組む。 また、R7年度平和発信・継承活動強化事業について、現行人員では円滑な推進が困難なため、班員1名の増員に取り組む。	県	平和祈念資料館の体制強化		
		研究員（学芸員含む）の配置数増（内訳）		
		2人	2人（継続2人）	2人（継続2人）
担当部課【連絡先】	知事公室平和・地域外交推進課 【 098-894-2226 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況						(単位：千円)			
予算事業名			平和祈念資料館展示活動事業			予算事業名		平和祈念資料館展示活動事業	
主な財源		実施方法		R6年度 決算額	R7年度 決算見込額	R8年度			
県単等		直接実施		812	14,711	主な財源		実施方法	当初予算額
県単等		直接実施				県単等		直接実施	
令和7年度活動内容						令和8年度活動計画			
監修委員会（年6回）、部会（年30回）の開催 計36回、基本設計の策定 実施設計の策定、展示設計に係る先進事例調査						監修委員会および部会の開催 計27回、実施設計の実施、有識者会議の開催、年3回（※未利用施設利活用検討、機能強化検討）			

活動指標名		研究員（学芸員含む）の配置数増（内訳）		R7年度			進捗状況	活動概要
		R5年度	R6年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値		—	—	0人	2人	0.0%	未着手	平和祈念資料館展示更新事業において設計業務に並行して展示の内容の校正等について監修委員会で検討する必要があるため、班員2名の増員に取り組む。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

平和祈念資料館の体制強化について、目標研究員（学芸員含む）の2人に対し実績0人（達成率0%）だったことから、「未着手」と判定。行政管理課との調整の上、学芸員の増員は認められなかったが、新たに副参事の増員が認められた。

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和7年度の取組改善案	反映状況
継続して行政管理課に増員するように取り組む	行政管理課との継続した調整に努めたものの、平和祈念資料館の増員には至らなかったが、並行して調整していた八重山平和祈念館の増員が認められた。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑧ その他外部要因 （改善余地の検証等）	平和祈念資料館展示更新事業における増員が必要な業務について、基本設計策定期間中に、基本設計図書作成の基礎となるプランの精査・再積算が必要となったため、期間を延長することとなった。	① 執行体制の改善	基本設計について事業者、各委員との連携のため綿密な調整が必要となってくる。増員することで必要な調整を円滑に進めることができる。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	4-(1)-ア	アジア・太平洋地域の平和発信拠点の形成	施 策	②アジア・太平洋地域における平和ネットワークの形成
			施策の小項目名	○国際会議の開催
主な取組	地域外交を基軸とする国際会議等の誘致・開催		対応する成果指標	地域間協力ネットワークを活用した発信数（累計）
施策の方向	・ 国際関係機関と連携の下、関係諸国の機関や研究所に呼びかけ、平和構築に貢献するための定期的な国際会議の開催に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R7	R8	R9
海外有識者等を招へいし、アジア太平洋地域の平和構築と相互発展のため、地域外交が果たす役割等についてシンポジウム等を開催し、沖縄がアジア太平洋地域の平和的な外交・対話の場となることを目的に実施する。	県	万国津梁フォーラム（仮称）や国際会議等の開催		
		国際会議等の開催回数（累計）		
		1回	1回（2回）	1回（3回）
担当部課【連絡先】	知事公室平和・地域外交推進課 【 098-894-2226 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)			
予算事業名		万国津梁フォーラム開催事業			予算事業名		万国津梁フォーラム開催事業	
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額		R8年度			
					主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	委託	812	12, 107		県単等	委託	12, 700	
令和7年度活動内容					令和8年度活動計画			
中国・韓国・シンガポール・台湾の有識者を沖縄に招き、東アジアの平和について考えるシンポジウムを開催した。					海外の有識者を沖縄に招き、シンポジウム等を開催する。			

活動指標名	国際会議等の開催回数（累計）		R7年度			進捗状況	活動概要
実績値	R5年度	R6年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		中国・韓国・シンガポール・台湾の有識者を沖縄に招き、東アジアの平和について考えるシンポジウムを開催した。
	—	—	1回	1 回	100. 0%		
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果							
国際会議等の開催回数について、目標 1 回に対して、令和 8 年 2 月に「万国津梁フォーラム」を開催したことから実績 1 回であり、「順調」と判定。							
(2) これまでの改善案の反映状況							
令和7年度 of 取組改善案				反映状況			
フォーラム開催 2 ヶ月前には登壇者を確定し、イベントの周知をよりはやく始めることで、集客に時間をかける。				2 ヶ月前には登壇者を確定できていたが、日中関係の緊張に伴い中国の有識者が直前で来沖キャンセルになる事情等が発生した。しかし、早急に代替の候補者について調整を実施できたため、十分な集客を確保できた。			

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化（外部環境の変化）	日中関係の緊張により、中国から招へい予定だった有識者の来沖が急遽キャンセルになったため、国内外の情勢を鑑みる必要がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	国内外の情勢を踏まえた対応として、国外の有識者だけでなく国内の有識者についてもいくつかピックアップしておく必要がある。